

補助金・助成金制度要綱の整理

[地域の居場所づくりに関する実態調査 2024 調査票]

II-3 支援内容について

設問3 貴団体が行っている支援について該当するカ所にクリックによりチェックをしてください。(複数回答可)

D 資金・物品面のサポート 自組織の補助金・助成金制度の活用
 →アップロードまたは郵送にて補助金・助成金制度の要綱のご提出をお願いします。

1.概要

回答団体を下表の種別によって

「ア) 社協・ボランティア・市民活動センター (以下、VC) 系」「イ) 助成財団系」に分類し、それぞれ項目を設定して分析を進めた。

都県ボランティア・市民活動センター	1 団体	1 件
区市町村ボランティア・市民活動センター	54 団体	59 件
まちづくりセンター	2 団体	2 件
国際交流協会	2 団体	2 件
テーマ型中間支援 NPO 等	3 団体	3 件
民間助成財団	8 団体	8 件
不明	1 団体	1 件

ア) 社協・VC 系

イ) 助成財団系

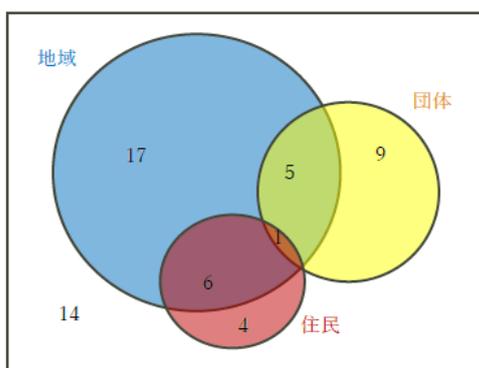
計 71 団体 計 76 件

2.分析項目

ア) 社協・VC 系 計 60 件

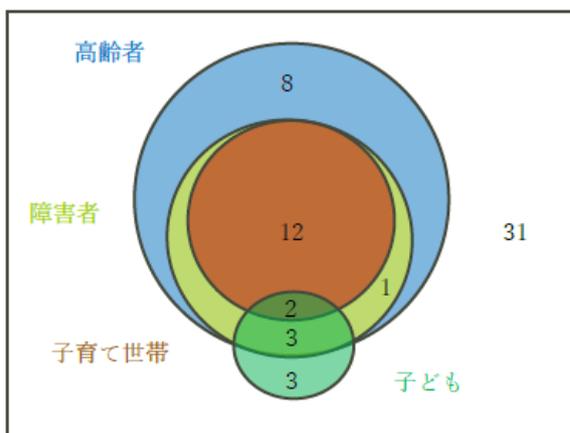
〈① 目的・定義〉

・住民個人の直接的な支援を目的としているもの、団体の活動支援をしているもの、地域づくりを目的としているものの3つに分類し、それぞれ「住民」は11件、「団体」は15件、「地域」は29件であった。また、以下の図の通り重なりが見られた。



〈② 対象団体〉

- ・登録団体を対象としているものが17件あった。
- ・対象種別は高齢者26件、障害者18件、子育て世帯14件、子ども8件であり、以下の通り複数種別を対象としているものもあった。



〈③ 金額〉

- ・金額について記述があったものは51件、ないものは9件であった。
- ・1件当たりの金額上限は「10万円以上30万円未満」が14件で最多、次いで「5万円以上10万円未満」13件が続いた。

金額	件数
1万円未満	1
1万円以上 3万円未満	7
3万円以上 5万円未満	5
5万円以上 10万円未満	13
10万円以上 30万円未満	14
30万円以上 50万円未満	1
50万円以上 100万円未満	1
100万円以上	1
計算不可	2
金額なし	6

・ 設定基準（複数設定あり）

金額を何により設定しているかを分類した。「参加人数」が10件と最多、続いて「会場費」が8件であった。

設定基準	件数
参加人数	10
会場費	8
開催回数	7
継続年数	4
開催月数	3
食事提供の有無	1
社協会員世帯数	1

・ 対象経費

消耗品費、会場費、食材費、茶菓子代、保険料、旅費、講師謝礼などの設定が見られた。

イ) 助成財団系 計 16 件

〈① 対象分野〉(複数設定あり)

「子ども」が最多で6件、続いて特に分野の記載のないものが4件であった。

対象分野	件数
子ども	6
高齢者	3
障害者	2
コミュニティ・まちづくり	3
多文化・国際	2
なし	4

〈② 助成の趣旨〉

・団体の理念や、応募団体へ期待すること等のメッセージ性を含めた記載が見られた。

〈③ しくみ〉

・継続年数による制限を設定しているものが5件、選考委員会の存在が明記されているものが4件であった。

〈④ 選考のポイント〉

(複数設定あり)

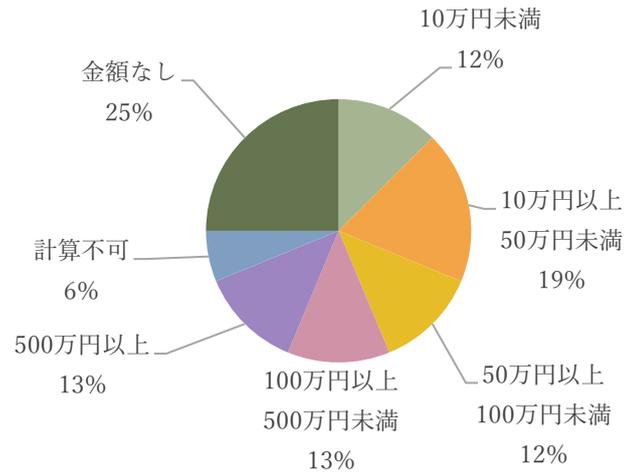
選考のポイント	件数
波及性	6
継続性	5
実現性	3
地域性	3
社会貢献性	2
先進性	2

〈⑤ 金額〉

・1件当たりの金額上限

金額の設定のないものが4件で最多、次いで「10万円以上50万円未満」が3件となった。

金額	件数
10万円未満	2
10万円以上 50万円未満	3
50万円以上 100万円未満	2
100万円以上 500万円未満	2
500万円以上	2
計算不可	1
金額なし	4



・対象経費

建物改修費、消耗品費、備品費、旅費、人件費、水道光熱費などの設定が見られた。

〈⑥ 事業運営上の工夫について〉

事業運営上の工夫	回答団体名	回答の概要
審査の過程での支援	東京都福祉保健財団	総合審査に向けた個別相談
	横浜市都市整備局地域まちづくり課	事前登録に対するコーディネーター派遣、提案検討会
団体とのつながり、他事業への広がり	生活協同組合パルシステム東京	広報紙への掲載
	中央労働金庫	CSR・社会貢献活動に関する広報活動・職員教育等への協力
団体同士のつながり	練馬区環境まちづくり公社	交流会
実現性・継続性のために	太陽生命厚生財団	実施計画書を提出後交付
	日本財団	自治体協力届出
	練馬区環境まちづくり公社	中間報告書の提出・報告会

事例の整理

[地域の居場所づくりに関する実態調査 2024 調査票]

III. 支援している居場所とその周辺の状況について

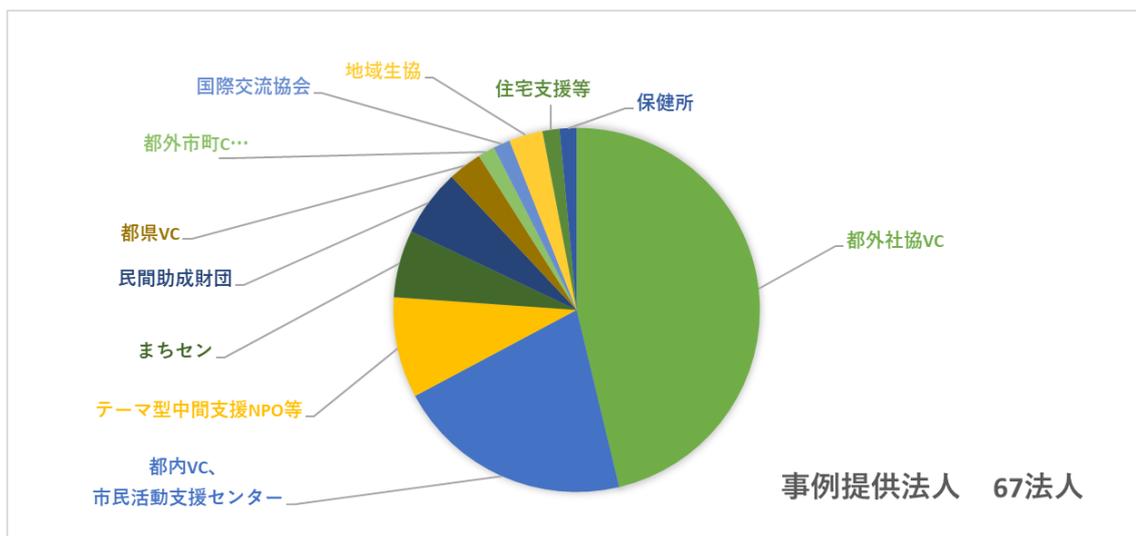
設問2 支援している居場所のうち特に先駆的なケース、紹介したくなるようなケースについて、名前をご記入ください。

設問3 設問2で回答いただいた居場所について、支援内容を以下の各欄にご記入ください。※支援内容が分かるような資料がありましたらアップロードまたは郵送でご提供ください。※URLがありましたら以下にご記入ください。

1. 概要

(1) 事例を提供した法人

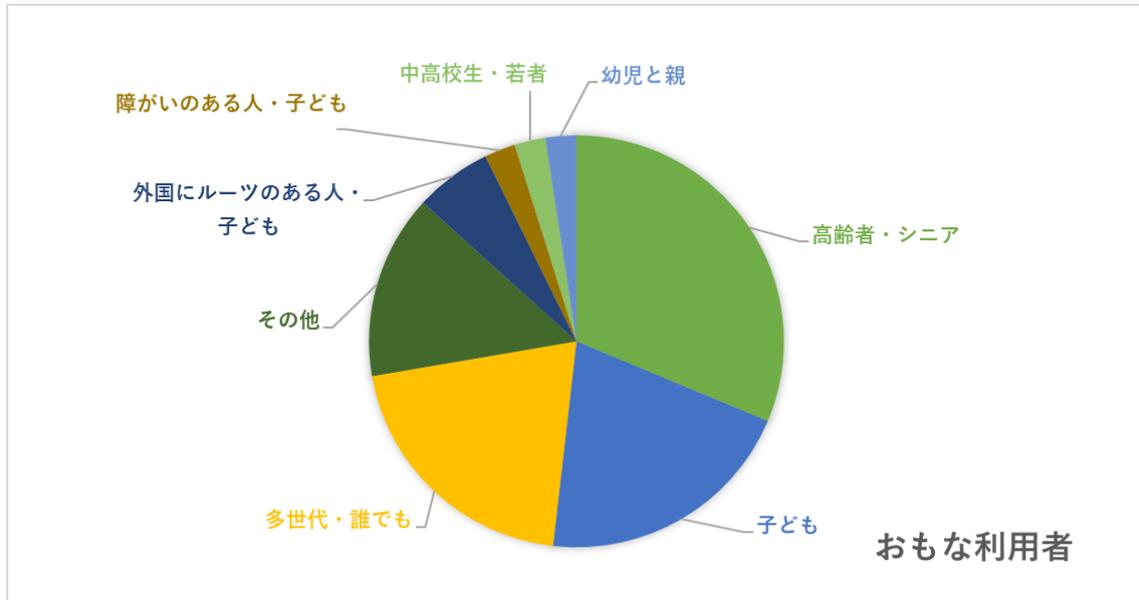
- ・ 事例提供法人数は、67件（速報版では72件）。
- ・ 複数提供した法人があるため、事例総数は、83。
- ・ 法人の内訳は、都外社協 VC がもっとも多く31件/46%、次に都内 VC・市民活動支援センター14件/21%、次いでテーマ型中間支援 NPO 等6件/9%。そのほか、以下の多様な中間支援組織等から事例提供があった。



法人カテゴリー	都外社協 VC	都内 VC、市民活動支援センター	テーマ型中間支援 NPO 等	まちセン	民間助成財団	都県 VC	都外市町 C(社協 VC 除く)	国際交流協会	地域生協	住宅支援等	保健所	医療生協	空き家対策	合計
件数	31	14	6	4	4	2	1	1	2	1	1	0	0	67

(2) おもな利用者

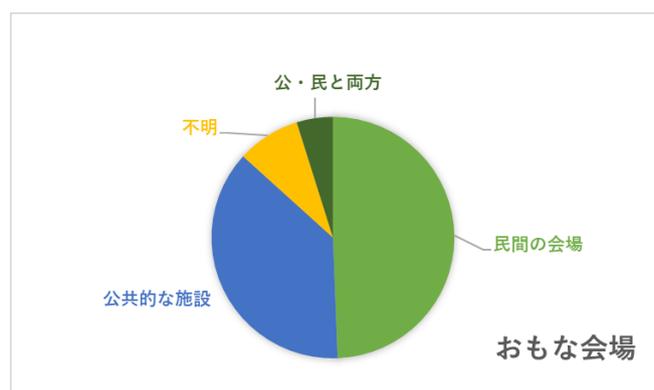
- 事例提供された居場所のおもな利用者は、高齢者・シニア 26 件/31%、次いで子ども 17 件/20%、多世代・誰でも 17 件/20%の順だった。その他は、ひきこもり等生きづらさを抱える人対象がだった。



おもな利用者	高齢者・シニア	子ども	多世代・誰でも	その他	外国人にルーツのある人・子ども	障がいのある人・子ども	中高校生・若者	幼児と親	大学生	認知症の人	はたらく世代	合計
件数	26	17	17	12	5	2	2	2	0	0	0	83

(3) おもな会場

- 居場所の会場についてみると、民間（民家、集合住宅集会室、神社・寺など）41 件/49%、公共的な施設（VC、公共施設など）31 件/37%、不明 7 件/10%、公共的施設と民間の両会場 4 件/5%、という結果が得られた。



おもな会場	民間の会場	公共的な施設	不明	公・民と両方	合計
件数	41	31	7	4	83

2. トピック

(1) 居場所をはじめた動機や、利用対象者

- ・ つながりづくりの必要性、孤立をなくしたい、交流の場をつくりたい
- ・ 団地高齢者
 - ：生活クラブ生活協同組合 ほっとスペースさくらさくら
- ・ コロナ禍の孤立、聴覚障害のある高齢者
 - ：横須賀市社会福祉協議会 手話べり傾聴の会
- ・ 男性高齢者
 - ：志木市社会福祉協議会 みんなのHiあそび
- ・ 不登校児等
 - ：埼玉県社会福祉協議会 学習支援 ねむの木/りそな銀行拠点
- ・ 精神障がい、ひきこもり等
 - ：成田市ボランティアセンター
- ・ 中学生以上の若者
 - ：入間市ボランティアセンター AIKURU FREE BASE
- ・ 外国籍の人
 - ：鴨川市国際交流協会 おしゃべりカフェ
 - ：特定非営利活動法人エンツリー
- ・ 子育てママ
 - ：越谷市社会福祉協議会 神社 de ままマルシェ内の子育てサロン
- ・ 高校生 校内カフェ
 - ：特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ

(2) 中間支援組織・コーディネーターのかかわり

- ・ JKK 住まいるアシスタント×地域福祉コーディネーター
 - ：東京都住宅供給公社夏の暑い時期に開催する「涼み処」
- ・ 地元の青年×地域福祉コーディネーター×駅前店舗
 - ：調布市社会福祉協議会（調布市市民活動支援センター） POSTO
- ・ 保育園×はたらく人×社協
 - ：稲城市社会福祉協議会 ハートハウスサロン
- ・ 中間支援組織が自ら立上げて運営
 - ：ちば市民活動・市民事業サポートクラブ TUGAno わ子ども食堂
- ・ 相談から伴走支援し開設、運営
 - ：所沢市社会福祉協議会ボランティアセンター ぽかぽか広場・山口
 - ：千葉市社会福祉協議会 幕西5656食堂
 - ：市川市社会福祉協議会

(3) 地域資源の広がり

- ・ 会場 : 自宅、空き家、空き店舗、保育園、神社・お寺、銀行の拠点、団地店舗
- ・ 人材 : 農家、ワーカーズ、地元企業、
- ・ 多様な地域の人材による運営
 - : 江戸川区社会福祉協議会 らいおんはーと
 - : 練馬区環境まちづくり公社 CASA ワイワイ

(4) 面的な展開・仕組み /調査研究

- ・ コミュニティビジネスによる持続的な展開 : こまちぷらす
- ・ 居場所をつなぎ、まち全体を子どもの居場所化 : ハートフル・ポート
- ・ 子ども食堂ネットワーク形成
 - : NPO 法人エンツリー 府中市こども食堂ネットワーク「100人こども食堂」
- ・ 地域共生のいえ支援事業 : 世田谷トラストまちづくり ケアラーズカフェ KIMAMA
- ・ ヨコハマ市民まち普請事業 : 横浜市
- ・ 医療福祉子育て支援拠点 : UR 都市機構
- ・ 空き家活用居場所づくり研究レポート : 文京区社協